

経営比較分析表

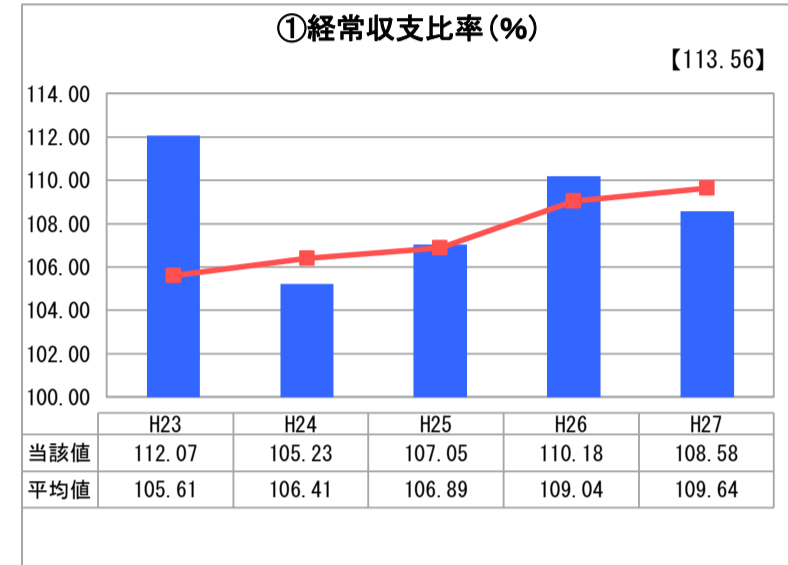
大阪府 熊取町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法適用	水道事業	末端給水事業	A5
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)
-	81.53	100.00	2,650

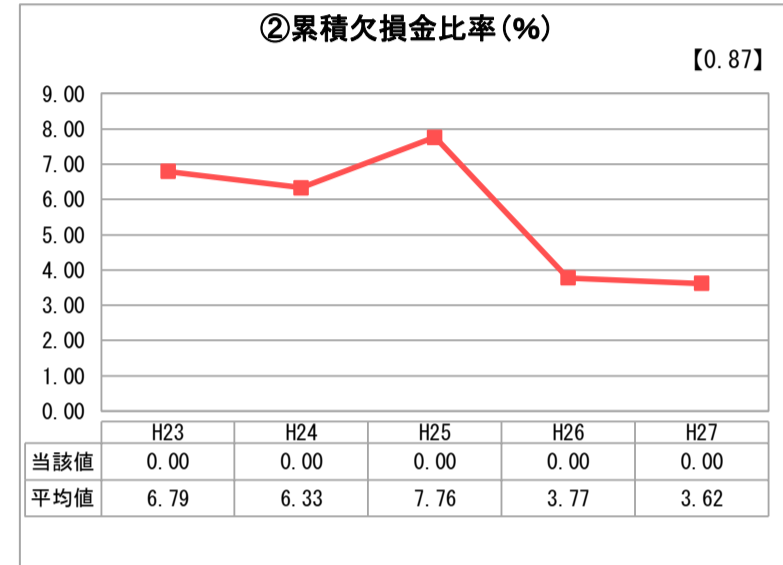
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
44,118	17.24	2,559.05
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km ²)	給水人口密度 (人/km ²)
44,063	10.40	4,236.83

グラフ凡例	
■	当該団体値 (当該値)
—	類似団体平均値 (平均値)
【	平成27年度全国平均

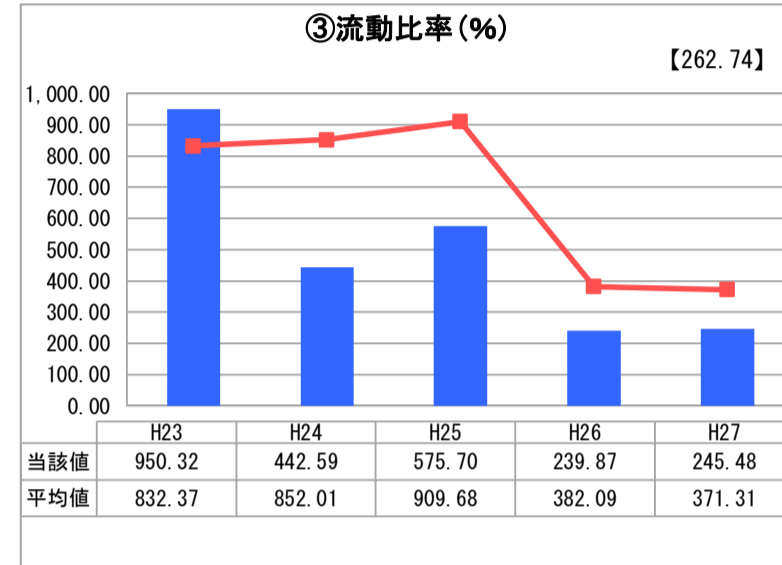
1. 経営の健全性・効率性



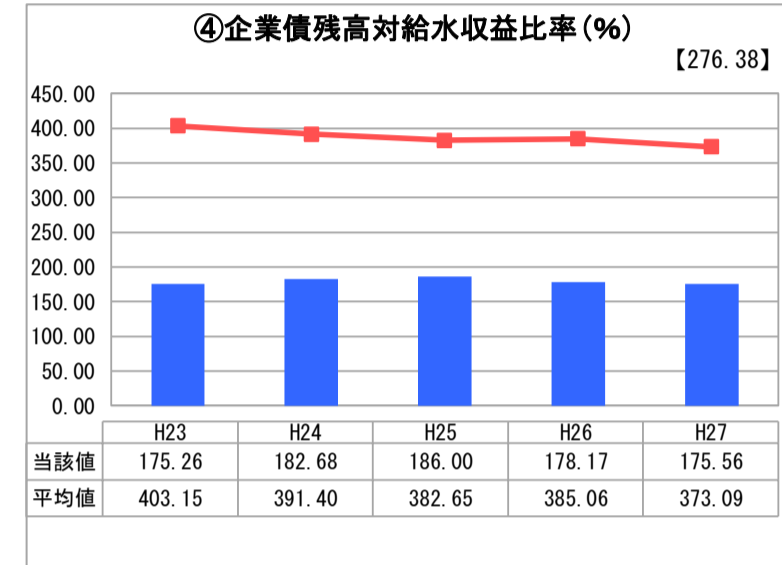
「経常損益」



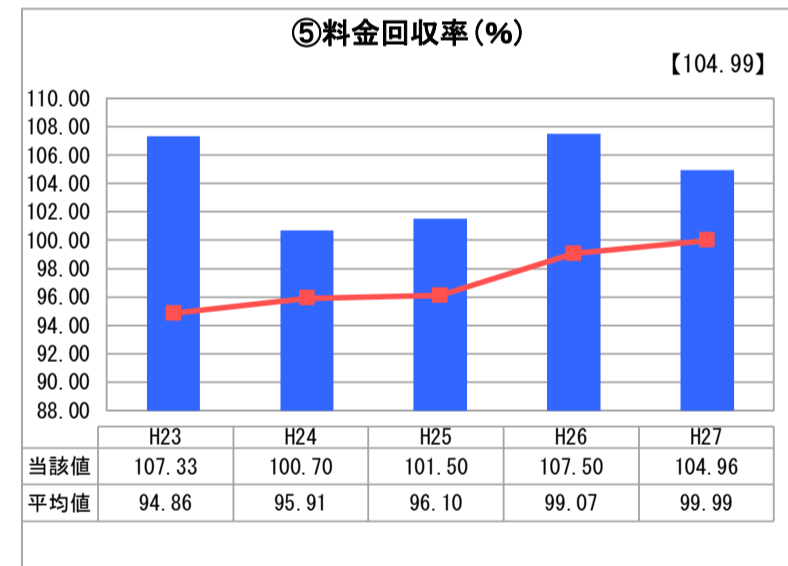
「累積欠損」



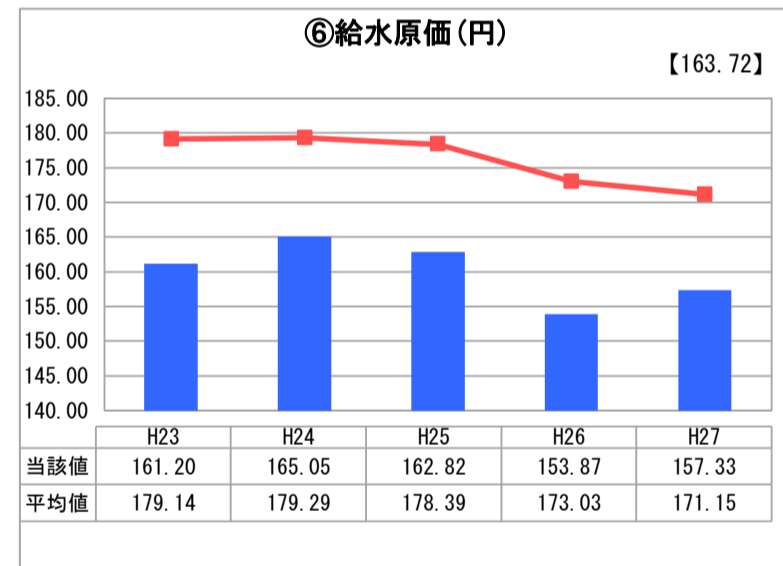
「支払能力」



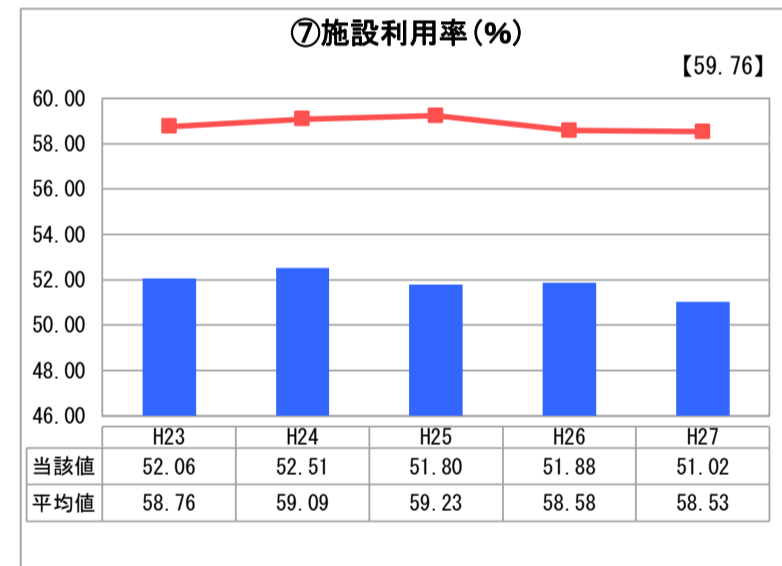
「債務残高」



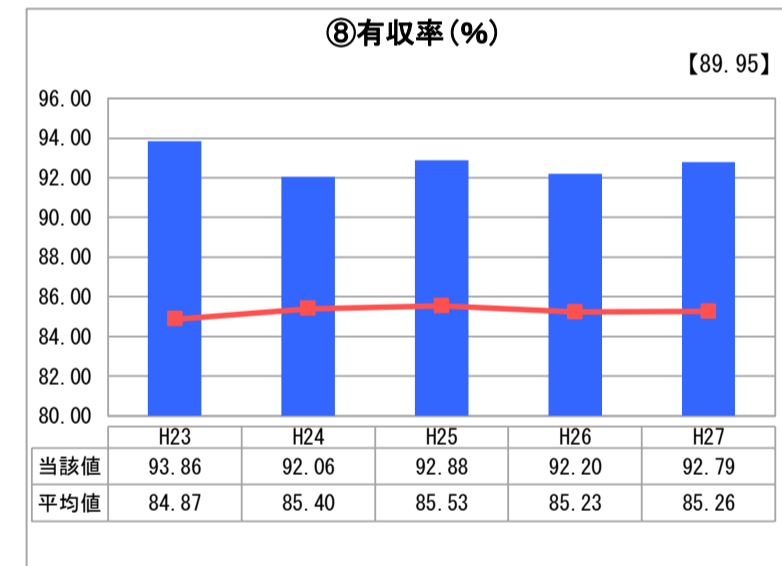
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

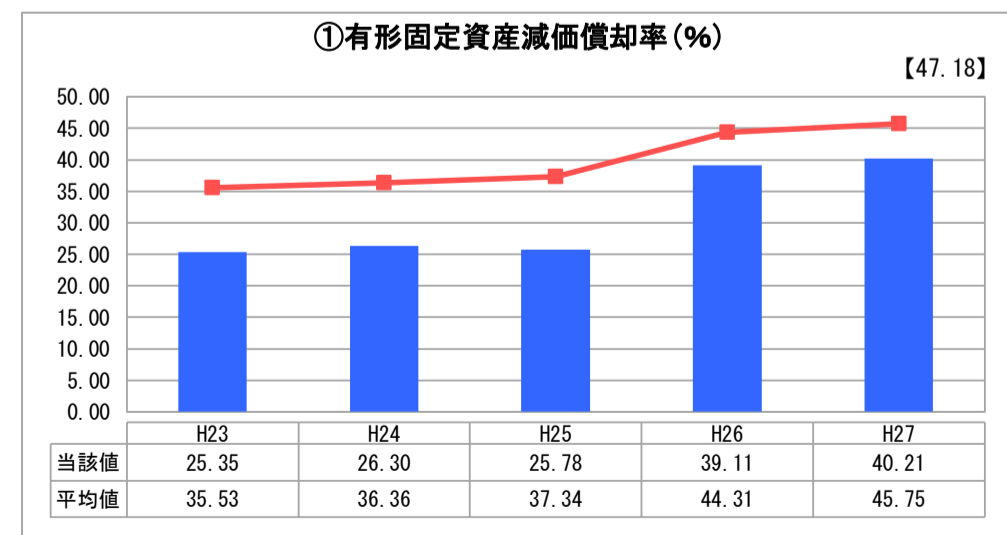


「施設の効率性」

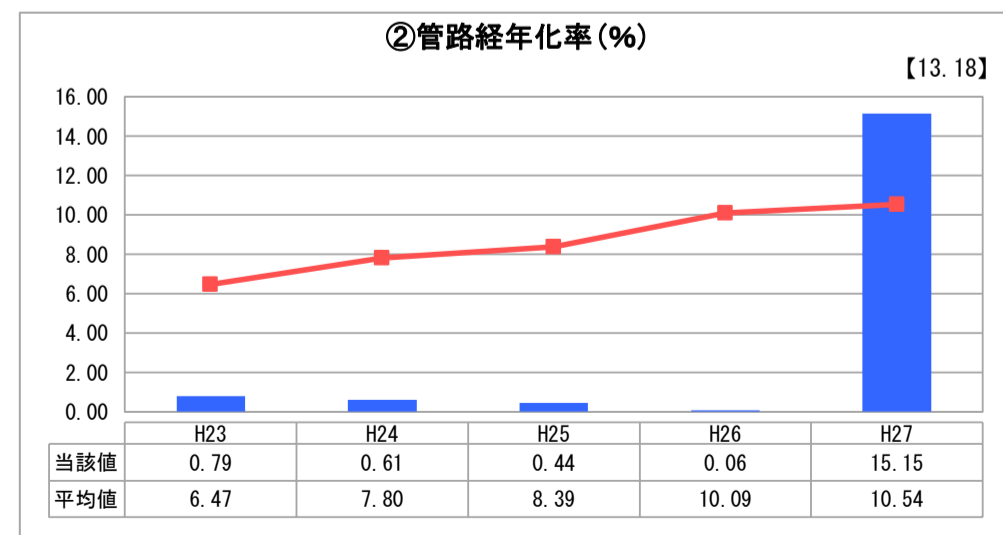


「供給した配水量の効率性」

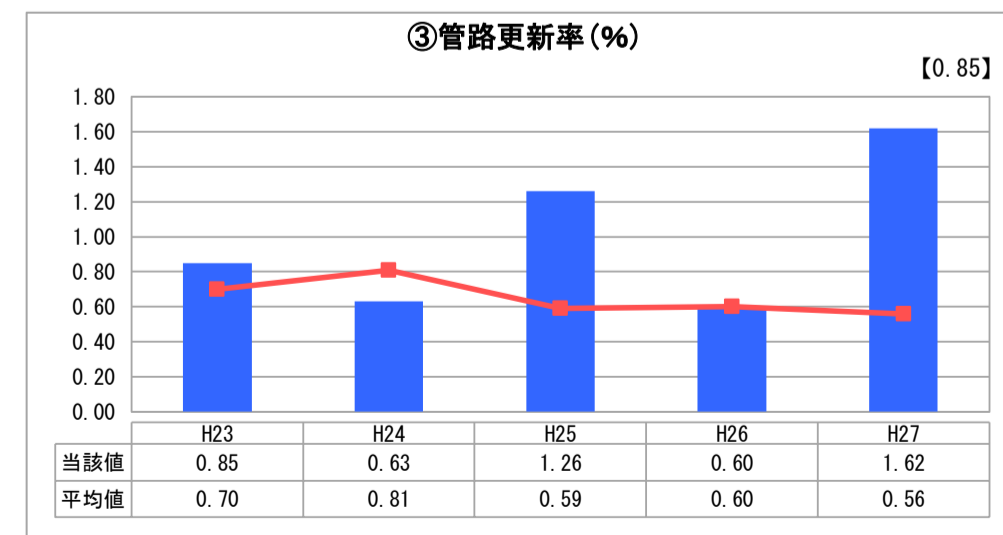
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① H23からH24にかけて当該値が大きく減少しているのは、給水収益が減少したことと減価償却費が前年度に比べ、約860万円増えたことが原因である。
 ③ H23からH24にかけて当該値が大きく減少しているのは、大規模工事の支払いが次年度になったため、未払金が増加したことによるものである。

⑦ 当該値については、算出根拠となっている一日配水能力が、平成2年の認可値となっているため平均値より低い値となっているが、現在、見直し作業を実施している。

2. 老朽化の状況について

② H26からH27にかけて当該値が大幅に増加したのは、大規模な住宅開発が40年を経過したことによるものである。

③ H24からH25にかけて当該値が大幅に増加しているのは、H24、H25の2ヶ年工事の完了などにより、管路更新延長が2,478mとなり例年より増加したためである。また、H25からH26は配水塔除却や減圧弁設置等、施設や設備に投資したため、管路更新延長が例年よりも減少しているが、H27の管路更新延長は、3,167mと再度大きく増加している。

全体総括

本町の経営は数値からも健全性を確保できているものとする。その上で、今後の改善に向けた取組等については、公平性の確保の観点から、料金徴収の更なる強化に努める。
 また、今後も耐震管の布設替換工事を計画的に行い、管路更新率向上に努める。

なお、経営戦略については、H32年度中に策定を予定しており、将来の財政収支見通しを作成していく中で、料金改定の時期についても適切に見定める。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。